

# 記憶のしくみ

須恵高校出張授業

2000/10/31

北九州大学文学部人間関係学科 松尾太加志

1. 「心理学」とは  
 実証科学：実験や調査に基づいたもの  
 心理ゲーム、心理テスト、占いとは違う。

2. 「こころ」とは  
 奥深く存在？  
 気持ち？。  
 知覚、記憶、思考といった「認知」過程が、「こころ」  
 記憶として残っているものが「こころ」

3. 記憶の3つの過程  
 記銘 覚える  
 保持 保存する  
 想起（再生，再認） 思い出す

4. 記憶のしくみ  
 感覚記憶 0.2秒程度記憶しておく。感覚の種類ごとにある。  
 短期記憶 数十秒程度記憶。7 ± 2程度記憶可能。作業記憶としての役割。  
 長期記憶 知識の倉庫。容量，保持時間ともに限界はない。

5. どうすれば記憶できるか  
 記憶のリハーサル  
 維持型リハーサル 短期記憶にとどめておく  
 精緻化リハーサル 長期記憶にうまく記憶する

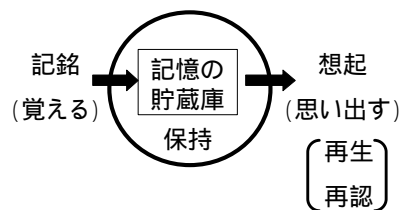


図3 記憶の3つの過程

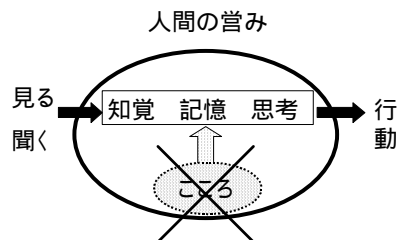


図1 誤った「こころ」のイメージ



図2 正しい「こころ」のイメージ

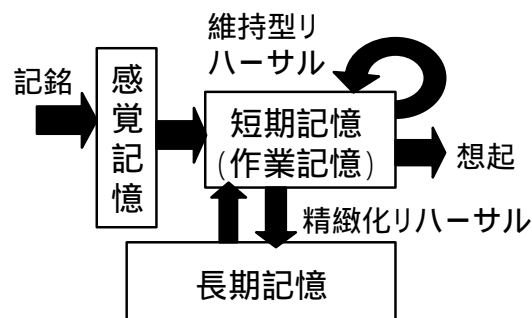


図4 記憶のしくみ

クレイクとワトキンスの実験(精緻化リハーサルの重要性)  
 【方法】単語リスト提示(最後に出てきた「...」で始まる単語  
 だけを記銘) 再生  
 最後に，全単語を再生

【結果】？  
 【考察】維持型リハーサルだけではダメ。精緻化リハーサルが必要

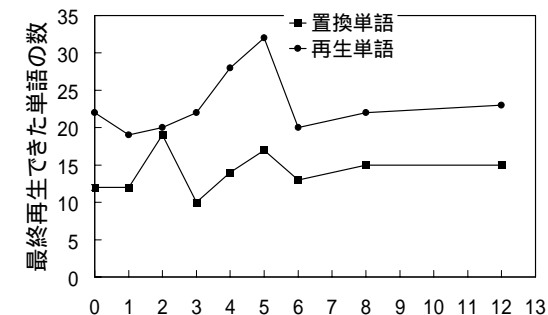


図5 クレイクとワトキンスの実験結果

ハイドとジェンキンスの実験(処理水準の効果)  
 【方法】実験前：「記憶の実験」or「作業の実験」  
 単語提示 課題作業(文字チェック or 愉快度評定)  
 最後に，全単語を再生

【結果】？

	文字チェック	愉快度評定
記憶の実験		
作業の実験		

【考察】処理水準が深いと効果あり

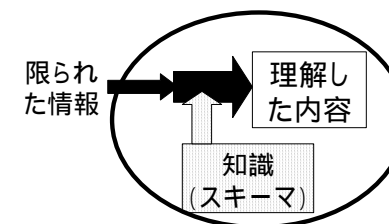


図6 理解を助ける記憶(知識)

6. 記憶(知識)は理解を助ける  
 スキーマが理解を助ける  
 スキーマ：事柄の関係性に関する(メタ)図式的知識

7. 記憶は歪められる  
 個々の細かい情報は忘れられる。  
 保持しているとき，思い出すときに，記憶は再構築される。

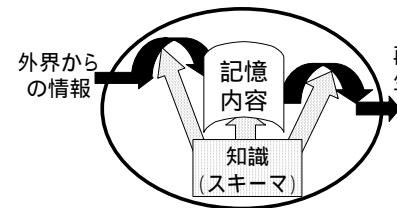


図7 記憶をゆがめる知識

ロフタスとパーマーの実験(目撃者証言における事後情報効果)  
 【方法】車の衝突ビデオ 質問(「激突した車の速度？」or  
 「当たった車の速度？」)  
 1週間後：「ガラスは壊れた？」  
 【結果】？  
 【考察】「激突」という情報 「激しい事故」だったと再構築

## 参考文献

行場次朗・箱田裕司(編著) 2000 『知性と感性の心理学 - 認知心理学入門 -』 福村出版  
 松尾太加志 1999 『コミュニケーションの心理学 - 認知心理学・社会心理学・認知工学からのアプローチ -』 ナカニシヤ出版  
 箱田裕司(編著), 福田恭介, 原口雅浩, 松尾太加志, 石田多由美, 白澤早苗, 原田純治(著) 1991 『心のしくみ』 関東出版社